

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 28.11.16 第 192 回国会第 6 号

11 月 16 日（水）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

補欠選任 理事 坂本 祐之輔君（民進）（理事 菊田真紀子君今16日委員辞任につきその補欠）

2 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・松野文部科学大臣、木原財務副大臣、義家文部科学副大臣、三木財務大臣政務官、田野瀬文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

池田佳隆君（自民）

- ・道徳教育において、いじめ問題など具体的な事例に即した形で、道徳的葛藤を自分のこととして考えるなどして学校現場の創意工夫を引き出すことが重要であると考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・幼児教育から高等教育、家庭教育や地域における教育も含めて、主権者教育を「子供たちを主権者に育む教育」と広い意味で捉え、その推進に文部科学省が積極的に関わることが重要であると考えているが、義家副大臣の見解を伺いたい。
- ・初等中等教育から高等教育に至るまで、我が国を支え、世界平和に寄与し得る「ひと」を創り上げることが教育であるという理念を実現するため、積極的に戦略を発信し、社会全体で教育への投資を行う流れをつくることについて、松野大臣の決意を伺いたい。

富田茂之君（公明）

- ・給付型奨学金は、「ニッポン一億総活躍プラン」や「未来への投資を実現する経済対策」にも記載があるとおおり、政府の最重要政策の一つとして実現すべきものであり、その財源は、政府予算全体の中で拠出することが必要であると考えているが、木原財務副大臣の見解を伺いたい。
- ・発達障害のある児童生徒に対しては、義務教育の段階からの十分な支援が必要であり、通級による指導の担当教員を基礎定数化すべきであると考えているが、木原財務副大臣の見解を伺いたい。
- ・低所得者の負担を緩和するため、平成29年度から、卒業後の年収が144万円以下の場合、毎月の最低返還額を2千円とする新所得連動返還型制度が導入される予定であるが、期待される効果について、松野大臣に伺

いたい。

太田和美君（民進）

- ・教育のICT化の有効性についての理解が十分に広まっていないのではないかと考えるが、教育のICT化の効果について、松野大臣の認識を伺いたい。
- ・平成29年度までの「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」において掲げられている電子黒板や教育用コンピューターの設置等に関する目標の一部はすでに達成が困難であると見込まれるが、その現状認識及び今後の整備加速に向けた取組について、松野大臣に伺いたい。
- ・教育用コンピューター等の情報端末について、現在は授業で使用する道具の類である「教具」として扱い、地方公共団体が購入費用を負担しているが、今後、児童生徒一人ずつに情報端末を提供することとなった場合、児童生徒の持ち物の類である「学用品」として扱い保護者が費用を負担することとなるのか、松野大臣の見解を伺いたい。

初鹿明博君（民進）

- ・小中学校における組体操の練習中の児童生徒の負傷事案の情報を集約し、各地方公共団体に情報提供を行うとともに注意喚起を行う必要があると考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・中学校の柔道の授業における事故件数が増加傾向にあることから注意喚起のための通知を發出し、特に群馬県の事案において生徒の体格差が被害を悪化させた要因として指摘されていることから、生徒の体格差にも留意するよう注意を促してはどうかと考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。

- ・小中学校ではプールへの飛び込みについて学習指導要領で指導を行わないものとされているが、高等学校には同様の定めはない。有識者や関係団体等が事故の発生を懸念していること等を踏まえ、高等学校においてもプールへの飛び込みについては指導を行わないこととするとともに、注意喚起を促す通知を発出すべきと考えますが、松野大臣の見解を伺いたい。

坂本 祐之輔君（民進）

- ・我が国の競技力強化のため、才能ある子供の発掘支援が必要と考えるが、「競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）」において、スポーツ庁はどのような態勢を構築するつもりであるか伺いたい。
- ・学校における運動部活動は競技力向上に貢献している一方、勝利至上主義や学業とのバランスが崩れるなど学習指導要領における指導の一環としては両立しないこともある。部活動の在り方を見直すべきと考えるが、スポーツ庁の認識を伺いたい。
- ・平成7年から推進してきた地域住民が自主的に運営を行う総合型地域スポーツクラブの果たしてきた実績及び今後果たすべき役割を伺いたい。

伊東 信久君（維新）

- ・H3 ロケットの開発に当たりエンジンの開発は20年ぶりとなるが、ノウハウの継承や若手研究者の育成などについて、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・位置情報ゲーム「ポケモンGO」が原因の交通事故等で児童生徒が被害を受けた事例を文部科学省は把握しているか伺いたい。
- ・通学路の安全に有効な施策をどのように考えているか、道路管理者の立場から国土交通省、法規制の立場から警察庁、児童生徒の安全を守る立場から文部科学省、それぞれの観点から伺いたい。

大平 喜信君（共産）

- ・いじめを認知した際に学校が不十分な対応を行った事例がある一方で、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」において、認知されているいじめのうち約9割が解消されていると報告されていることについて、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・いじめはいじめられる側にも問題があるという考えをもつ教員が少なからずいることについて、このような考えは重大な誤りであると考えますが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・いじめの対策を充実させるためにも、去る11月4日の財務省の財政制度等審議会において示された試算に従って教職員定数の削減を行うのではなく、教職員定数の改善によりクラスの規模を小さくすることが大切だと考えているが、松野大臣の考えを伺いたい。
- ・いじめの隠ぺいを防ぐために、教育委員会と学校が把握している情報を被害者遺族と共有すること、調査方法について被害者遺族が意見できるようにすること及び調査報告書に被害者遺族がコメントを残せるようにすることが必要であると考えますが、松野大臣の見解を伺いたい。

吉川 元君（社民）

- ・去る11月4日の財務省の財政制度等審議会において示された教職員定数の削減の試算に従い、財務省では、教職員定数を削減すべきと考えているのか伺いたい。
- ・「次世代の学校」指導体制実現構想はまだ開始していないにもかかわらず、エビデンスに基づいた分析の必要性を主張する財務省についての松野大臣の意見を伺いたい。

3 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案（丹羽秀樹君外8名提出、第190回国会衆法第34号）

- ・提出者河村建夫君（自民）から提案理由の説明を聴取しました。